

全国安全週間を迎えるにあたり

全国安全週間は本年で 98 回を迎えます。

『多様な仲間と 築く安全 未来の職場』

をスローガンとし、6 月 1 日から 30 日までを準備期間、7 月 1 日から 7 日までを本週間とし実施されます。

昨年度、令和 6 年の労働災害の発生状況におきましては、相変わらず墜落・転落災害が多く、挟まれ・巻き込まれによる事故も多発しております。

今年に入り高速道路のリニューアル現場で、吊り足場の崩落により 5 名の方が負傷しそのうち 2 名が亡くなるという重大事故が発生しました。当社にとっても同種の業務に携わっており、決して他人事とはいえず、災害ゼロを目標にさらなる安全管理に力を入れていかなければなりません。

マンネリ化・ヒューマンエラーによる労働災害をなくすため、現場に携わる人全員で毎日の KY 活動の参加及び施工手順の確認を確実に実施してください。

これからの時期は気温・湿度の上昇から、現場や会社構内作業時での熱中症予防に十分な注意が必要となります。今年は昨年より猛暑となる予報が出ております。

また、2025 年 6 月より【熱中症対策における義務化】が施行されます。常日頃からこまめな水分塩分補給と休憩の確保、及びこの時期は特に過度の飲酒等を控え自己の体調管理を行ってください。

各現場においても現場に即した熱中症対策を実施していただき、熱中症予防に努める様よろしくをお願いします。

今後一人の被災者も出さないという基本理念の下、各人が安全意識を高め災害のない安全職場をみんなで作っていきましょう。

当社年間安全標語

『 危ないぞ！ 言える勇気と聞くゆとり みんなで作ろう安全職場 』

2025 年 6 月 1 日

株式会社 国 土
代表取締役社長 田邊 和洋

多様な仲間と 築く安全 未来の職場

今年で98回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

これまで、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少しておりますが、令和6年の労働災害については、死亡災害は前年を下回る見込みであるものの、休業4日以上死傷災害は前年を上回る見込みであり、近年、増加傾向に歯止めがかからない状況となっています。

特に、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害、墜落・転落などの死亡災害が依然として後を絶たない状況にあります。

また、労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、令和5年3月に策定された第14次労働災害防止計画に基づく施策を着実に推進するための不断の努力が必要であり、計画年次3年目となる令和7年度においても、労使一丸となった取組が求められます。そのため、令和7年度は、「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」のスローガンの下、全国安全週間を実施することとしました。

厚生労働省では、7月1日（火）から7日（月）までを「全国安全週間」、6月1日（日）から30日（月）までを準備期間として、各職場における巡視やスローガンの掲示、労働安全に関する講習会の開催など、さまざまな取組を実施します。

全国安全週間スケジュール	
6月1日～30日	準備期間
7月1日～7日	本週間

『準備期間』の実施事項

① 社長メッセージの通達
6月2日付で実施(田邊社長作成→6月2日の朝礼で発表)
② 役員を含めた安全パトロールの充実・活性化
1) 実施日：6月中(班毎で日程調整)
2) 班編成：協議の上県内現場にて実施(役員を含め2名1チーム程度)
③ 胸章の標示
全社員で安全週間のスローガンの入ったワッペンを身に付ける。
④ 垂れ幕の標示
本社・東港営業所で安全週間スローガンの入った垂れ幕を掲示する。
⑤ 安全ポスターの掲示
本社・東港・機材センター各社内に安全喚起のポスターを掲示する。
⑥ 安全衛生大会の実施
6月27日（金）デンカビッグスワンスタジアム『大会運営室4』にて開催する。